

# 海洋情報による漁業サービス ～気象衛星ひまわりSST配信サービス

ソリューション事業第一部 事業開拓課 荒井頼子



# 近年の海洋情報サービス

## ■ 漁業向けのサービスが増加

- ・サービス提供企業様は、各社特色を生かしたサービスを展開
- ・ご利用者様は、個別のニーズに対応したサービスを選択

## ■ 遠洋から養殖まで幅広く

- ・漁場推定による燃料代削減の効果
- ・水温変動が養殖に与えるダメージに対応する判断材料

## ■ SDG's 持続可能な水産業

- ・IT化など魅力ある水産業への取り組み
- ・効率的だけでなく、海の資源管理への意識向上



<https://www.jafic.or.jp/service/ebisukun/>



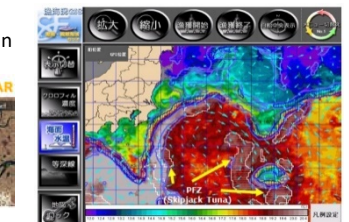
<http://www.kaisho-japan.com/>



<https://www.suigi.pref.iwate.jp/satellite>



<https://oceaneyes.co.jp/>



<http://glinnova>



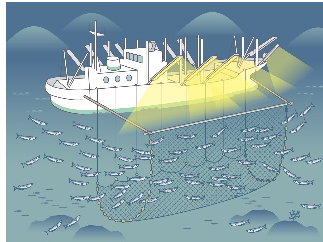
<https://umitron.com/ja/pulse.html>

漁業向けの海洋情報サービス 例

# 気象衛星ひまわりデータの活用 -観測時間帯-

## ■観測時間帯が拡張

沿岸イカ釣りの例



準備／出港

漁／移動

帰港／水揚げ

NOAA



<https://directory.eoportal.org/web/eoportal/satellite-missions/n/noaa-poes-series-5th-generation>

午前・午後の一定時間帯のみ

ひまわり



気象庁提供

24時間 観測終了後すぐに利用可能

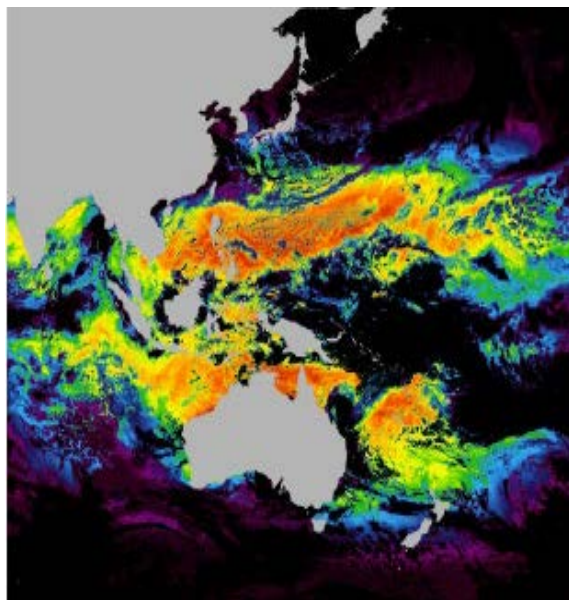
出港直前の情報が利用可能

操業の全時間帯の情報が利用可能

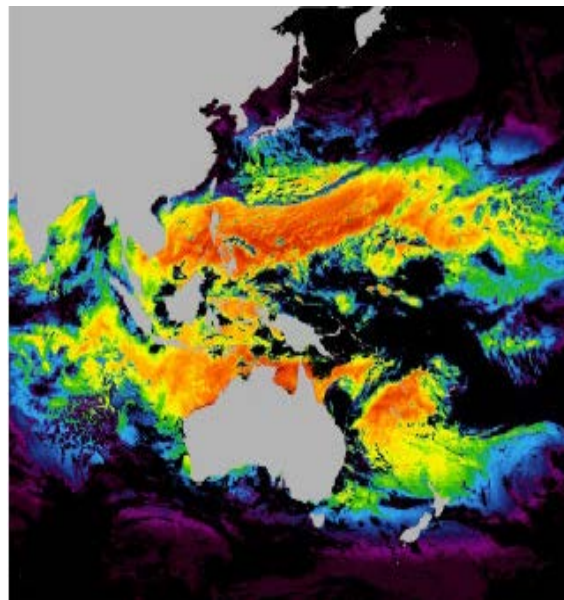
# 気象衛星ひまわりデータの活用 -観測頻度-

## ■ 観測頻度が向上

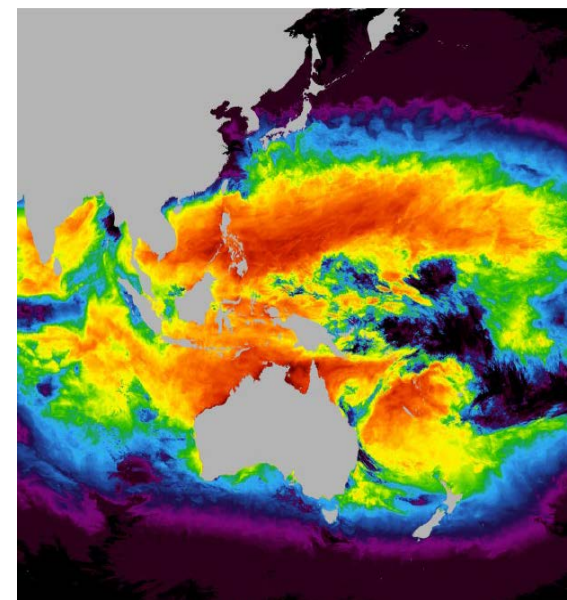
1時間毎に雲の影響を軽減したデータを提供



1回の観測



1時間合成後



参考 1日合成



# ご利用提案

## ■スマート水産アプリで表示

- ・1時間毎に情報を更新することが可能
  - ・ご利用者様のニーズにあわせて、海況情報の更新が可能
- お客様の新しいサービスコンテンツの一つとしてご検討ください。



## ■モデル入力値として

- ・実況値を高頻度に利用可能
- ・お客様が開発された海況モデル等への入力値にご利用頂くことで、モデル推定の更新頻度の向上が可能



## ■GISソフトによるご利用

- ・プログラミングの経験がなくても、フリーのGISソフトにドラッグアンドドロップで表示可能
- ・お手元の漁海況情報と組み合わせた解析、現況把握にもご利用可能



# 気象衛星ひまわりSST配信サービス

## ■ 概要

気象衛星ひまわりの衛星画像データから雲を除去した海面温度データを作成し、オンラインで配信

## ■ 特徴・仕様

- ・海洋シミュレーション、二次加工、数値解析における利用を想定したサービス
- ・商用利用可能。お客様のサービスコンテンツの拡大、新規開発での利用を想定
- ・1時間毎に、気象衛星ひまわりの撮影領域全域をFTPで提供
- ・数値データの提供 GISソフトで表示可能なGeoTIFF形式で提供

単位: °C

空間分解能: 約2km

座標系: 緯度経度

目標精度 RMSE=1.5°C以下\*

\*気象庁による日平均ひまわり海面水温との比較による



***RESTEC***  
Sense your Earth